

- プジョー・シトロエン・ジャポン、シトロエン「C4カクタス」のボンネットストライカー及び燃料パイプに不具合があるとしてリコール  
ボンネットストライカーについては、サポートの形状が不適切な為、走行時の空気抵抗や車体振動により亀裂が入るものがある。その為、そのまま使用を続けるとサポートが破断し、ボンネットのロックができなくなり、最悪の場合、走行中にボンネットが開いてしまう恐れがある。燃料パイプについては、配索時の取付手順を誤ったため、燃料パイプが燃料リターンパイプのコネクターと接触するものがある。その為、エンジンの振動により燃料パイプの被覆が損傷し、最悪の場合、燃料パイプに穴があき燃料が漏れる恐れがある。  
16年11月11日～17年8月30日に輸入し
- メルセデス・ベンツ日本、「A180」等計110車種のエアバッグに不具合があるとしてリコール 12年2月4日～18年1月5日に輸入した17万3190台  
不具合部位はステアリングコラムモジュールのアース配線。アース配線が不十分な為、ステアリングコラムモジュールカバーの隙間から異物が侵入した際、アースが断線するものがある。その為、エアバッグの警告灯が点灯し、最悪の場合、帯電した静電気が放電されず、意図せずエアバッグが展開する恐れがある。
- マツダ、「ロードスター」「デミオ」「CX-3」のDC-DCコンバータに不具合があるとしてリコール 14年8月5日～17年4月24日に生産した1万5105台  
減速エネルギー回生システム(i-ELOOP)を搭載した車両にて、DC-DCコンバータの制御プログラムが不適切であることが判明。電気回路が故障した場合にi-ELOOP警告灯点灯およびi-stop警告灯が点滅するとともに、通電停止のためのバイパスモードが作動するが、プッシュボタンスタートを押して電源ポジションをオフにした際、解除することがある。その為、そのまま使用を続けると、DC-DCコンバータ内部の電気回路がショートし、充電不良となりバッテリーが上がり、エンジンが停止、最悪の場合、火災に至る恐れがある。
- BMWジャパン、MINI「クーパーSクロスオーバー」等MINI及びBMW、27車種の電動補助クーラントポンプに不具合があるとしてリコール  
07年11月22日～11年11月28日に生産した6921台。尚、今回の届出は、2011年12月及び2012年1月のリコール届出の対象車両を追加するもの。ターボチャージャーを冷却するための電動補助クーラントポンプの作動用回路の設計評価が不十分だった為、回路がショートしてプラグ接続部が焦げ付き、車両火災に至る恐れがある。
- いすゞ自動車、「ギガ」の燃料ホースに不具合があるとしてリコール 17年5月25日～18年5月24日に生産した7413台  
燃料パイプと燃料ホースの取付け構造が不適切な為、組付け時のばらつき等により燃料ホースに過大な応力が発生し、亀裂が生じることがある。その為、そのままの使用を続けると亀裂が進展して燃料ホースが破損、燃料が漏れる恐れがある。
- FCAジャパン、ジープ「グランドチェロキー」等計5車種のパワートレインコントロールモジュールに不具合があるとしてリコール  
パワートレインコントロールモジュールの制御プログラムが不適切な為、オートクルーズ作動時にモジュールの通信配線に摩害が生じた場合、オートクルーズが解除不能となることがある。その為、意図せずに車両が加速する恐れがある。  
13年4月11日～18年6月14日に生産した1万0
- フォードモーターカンパニー、「エクスプローラー」の室内ドアハンドルに不具合があるとしてリコール 11年2月11日～12年11月12日に生産した2088台  
室内ドアハンドルのリターンスプリング保持部の強度が不足している為、操作時に保持部が破損し、リターンスプリングが外れ、ハンドルが定位置に戻らないものがある。その為、ドアラッチがロックせず半ドア状態となり、最悪の場合、側面衝突時の衝撃でドアが開く恐れがある。
- FCAジャパン、ジープ「グランドチェロキー」のブレーキブースターに不具合があるとしてリコール 10年12月18日～14年1月16日に生産した3445台  
ブレーキブースターの防水カバーが適切に取り付けられていないものがある。その為、ブレーキブースターに雨水がかかり、腐食して負圧が失われ、最悪の場合、制動距離が伸びる恐れがある。
- 日産自動車、「ノートe-POWER」「セレナe-POWER」の減速機に不具合があるとしてリコール 17年8月9日～18年4月27日に生産した5万5206台  
減速機の製造工程で、パーキングロックの作動確認検査方法が不適切な為、パーキングボールのシャフトが変形しているものがある。その為、Pレンジでパーキングロックが作動する際に、パーキングボールとシャフトの摺動抵抗が高くなり、パーキングロックが作動せず、最悪の場合、駐車ブレーキを掛けないと車両が動く恐れがある。

